

※ 『徳島労基 2021年11月号』より抜粋

株式会社レーザーシステムでは、会社概要説明の他、職場改善へ向けての取組状況について丁寧に説明していただきました。最初に「働き方改革」については、①在宅勤務制度の採用 ②Web会議の推進 ③時間有給の採用 次に「安全衛生・福利厚生」については、①特殊なレーザー技術取得を中心とした新入社員教育 ②定期的な社長面談による課題抽出と改善 ③健康診断オプションを会社負担 ④出張者用ルームの社内設置(個室、風呂、洗濯機完備 最後に「コロナ対策」については、①出勤時の体温測定、手指の消毒、体調の記録 ②在宅勤務や時間差出勤の推進 ③各拠点の換気や消毒 ④3日間ホテル・自宅勤務後のPCR検査陰性等の条件による拠点間移動等、全社のいたるところに社員の働く意欲が向上する仕掛けづくりが展開されていました。



その後、スタッフと共にクリーンルームを中心に光学エンジンの製造・保守現場において、パトロールを行いました。安全衛生関係法令の順守はもちろんのこと、単独作業の労働災害を未然に予防するため、深夜単独作業のルール化や適切な休憩取得などのリスク低減対策や快適な作業環境の形成など、様々な取組について確認することが出来ました。